

■趣 旨

銀座・京橋・日本橋は江戸時代から繁栄してきた伝統ある地域であり、日本を代表する商業地の銀座は独自の「銀座ルール」による建て替えが進行し、三井グループの本拠地でもある日本橋では「日本橋再生計画」に基づいて再開発が順次事業化されている。その中間に位置する京橋はこれまで地味な存在だったが、京橋エドグランなど複数の再開発が完成し大きく変貌してきた。また、日本橋の上空を通る首都高速道路の地下化が具体化し、それに関連して周辺で大規模な再開発も動きつつある。伝統ある地域が近代建築など歴史的資源を活かしつつ、新たな時代に対応して都市機能の再編を図ろうとしている銀座・京橋・日本橋を歩き、街の歴史と変化について考えてみた。

■日 時 2020年1月19日(日) 14:00~17:30

■ルート 【銀座】銀座ソニーパーク⇒東急プラザ銀座⇒泰明小学校⇒交詢ビル⇒金春通り⇒ギンザシックス⇒銀座三越⇒無印良品銀座店⇒福祿寿⇒奥野ビル
【京 橋】東京スクエアガーデン⇒京橋エドグラン⇒旧戸田ビル⇒ミュージアムタワー京橋
【日本橋】高島屋⇒コレド日本橋周辺⇒日本橋⇒むろまち小路⇒コレド室町⇒三越本店⇒三井本館⇒日本銀行⇒コレド室町テラス⇒福徳の森

■参加者 磯 達雄、井手 幸人、伊藤 貴敏、上野 朋子、大竹 亮、荻原 勝己、呉 祐一郎、高橋 謙、竹下 香里、藤井 正男、古里 実、村田 英樹、横田 宜明 【コーディネーター】栗原 徹

1. 銀座

1-1 銀座の街(全体)

4.09【AAAAAAAAABBBBC】

A: 地元の総意に基づく「銀座ルール」によって超高層開発を抑制することにより、「通りに面して一流の店舗が並ぶ」という銀座本来の価値を保っている。裏通りにもレトロな奥野ビル(一丁目)など思わぬ発見があり、銀ブラの楽しさは今も健在。

A: 銀座ルールを地区計画に定め、「にぎわいと風格」のある街並形成を図っていることは他のお手本になっていると思う。

A: 銀座ルールによって超高層化せずに街の更新が進められ、銀座らしい個性的な街並みができてきている。

A: 全体的に、銀座ルールに従って、建築物の更新が進んでおり、日本を代表する繁華街となっている点が評価できる。

A: 商業の街が常に発展しつづけている状況に驚く。この求心力の強さは、立地もあるが、歴史的に煉瓦街からはじまっているのかと思うと感慨深いものがある。

A: 海外からの旅行者(オーストラリア人)からは大変エレガントな街並みでクールだというコメントを聞いたことがあるのですが、今回散策して新たに旅行者に魅力的な街並みであると思いました。

A: やはり歴史と風格ある日本一の商業街だと思う。

B: 街路に面した店舗がファサードのデザインを競い合う。また裏通りにはユニークな建物や遺物が残っている。

B: 銀座は銀座としてのブランドを保ちつつ残って欲しいです。

B: 歩いて楽しいまち。若いひとからお年寄りまで受け入れてくれるまち。

C: 敷地が狭く、ペンシルビルが多い。歴史性や知名度から、もっと街の風格が感じられるような試みが必要。



1-2 ギンザシックス

4.00【AAAAABBBBBB】

- A：最新の高級商業施設という印象。外観のデザインも水平方向が強調されて、圧迫感を感じない。内部の吹抜け空間やブックストアも見ごたえがある。屋上広場も開放的で緑化されている空間に仕上がっている。店舗は価格が高くて庶民には手が届きにくい、銀座の客層なら需要はあるのでしょう。
- A：道路を通し、SPCで事業を成立させるなど銀座といえども工夫が必要で、それを実現したのはすばらしい。店舗の作りも工夫がされており、新しい百貨店をイメージさせている。
- A：6・六角形をモチーフしているところが随所にあり、面白いと思いました。また、地上56メートルの銀座で最も☆に近い場所の屋上庭園など、都会の喧騒をしばし忘れられる空間もあり、もの消費からこと消費へ一般消費者のニーズに即した展開をしていると思いました。
- A：公共施設の付け替える街区設計としての工夫や屋上をガーデンとして整備し開放することで銀ブラするお客さんが楽しめる空間づくりに好感がもてる。
- A：屋上が開放されているのは素晴らしい。店舗内の吹抜けも気持ちいいですね。
- B：当初の超高層開発を止めた（断念した）こと、街区をまたいで開発していること、屋上テラスを設けていることなど評価できるが、肝心のショッ
プ構成がいま一つワクワクしない。松坂屋が栄の本店のようにながでデパートを続けられればいいのに。
- B：屋上庭園はすばらしい。高さ制限がなされているので、眺望がよい。吹き抜けの空間を利用したクジラのディスプレイはよかった。
- B：再開発によって大街区化され面白い商業空間が形成された。屋上からの銀座の眺めが非常に良い。
- B：屋上にタダで座ってすごせる場所を設けてくれたことを評価したい。
- B：銀座の歴史と美しさを引き立てる施設だと思う。
- B：大きな吹き抜けがとっても気持ちいい空間となっていると思いました。



2. 京 橋

2-1 東京スクエアガーデン

3.36【AAAAABBBBBBCC】

- A：建築物省CO2先導事業に採択されている案件でもあり、植栽を配したファサードが目目を引く建物でした。オーストラリアのNSWの再開発エリアでもグリーンスター6スター獲得しているこのような建物が多く見かけられ、パリ協定の実現には、日本社会においてもこのような建物が数多く建設されることが望ましいのだと思いました。
- A：オフィスビルの5階まで「京橋の丘」としてボリューム感ある緑地をこれだけ見せる整備と維持管理の工夫を評価したい。
- A：地下鉄駅との連続性や緑化、公共空間が小気味よくまとめられている。派手さはないが、秀作だと思う。
- A：緑の多さに圧倒された。京橋駅と直結し、段差なく空の見えるピロティにつながっていて、開放感がある。
- B：これという特徴がなかった京橋交差点のランドマークとして、ゆたかな緑と提供空地を設けた開発であり、旧道の通り抜け通路や沿道のカフェテラスなども評価できる。しかし、あまりに教科書的な設計なので、楽しさや心地よさに欠けるのがとても残念。
- B：広場に面して緑化空間が確保されているのはよい。1階の吹き抜け通路は、オフィス向けのせいかにぎわいが感じられず寂しい感じがする。
- B：京橋の丘をイメージした緑化や、京橋駅と直結するサンクンガーデンの空間構成はなかなか良い。
- B：低層部の多くの緑がまちに貢献している。



B：緑が印象に残る。

C：初夏は緑がもっと色濃く映えていましたが、冬場は少々寒々しい気がしました。

C：地下鉄駅とのつながりをもっとうまくいかせたはず。

2-2 京橋エドグラン

4.09【AAAAAAAAABBBBC】

A：明治屋の歴史的建築を保存するだけでなく、旧道の通り抜けに店舗や吹き抜けが面し、公開空地にソファやベンチを多数配し、地下鉄駅からも地下の路地商店街を引き込むなど、非常に豊かな都市の建築群を構成している。

A：地上レベルと地下レベルに大きな広場空間を確保し、明治屋の歴史的建築物を保存するなど意欲的な取り組みによって、非常に居心地の良い空間が形成されている。

A：再開発事業の中で歴史的建造物の明治屋京橋ビルを棟として残し活用しているところが良いと思う。歴史的建造物の容積を移転する方式の再開発ができる地区（ポテンシャルがある）ということかなとも思う。

A：明治屋の歴史的建造物がほぼそのまま保存活用されているのはよかった。

1階の吹き抜け通路空間が広く、地下の店舗との動線も分かりやすく評価できる。

A：初めて京橋エドグランに来た時に日本にもこのような空間が在るのだと感動したことを覚えています。座れるソファの配置が心にくい演出となっていたと思います。

A：空間の使い方にゆとりがあっていい。地下の大通りからの地下鉄へのアクセスもわかりやすくいいですね。

A：明治屋の建物を保存活用しているのが歴史性を感じさせている。吹き抜けの通路、空間の活用がよい。

B：大階段でのイベントが楽しそう。

B：明治屋を残したことは評価できるが、建物の配置や公共歩廊等のつくりが単調かつ個性に欠け、もう一つ工夫が必要ではないかと思った。

B：明治屋が残っていて良い印象。



3. 日本橋

3-1 日本橋の街（全体）

4.09【AAAAAAAAABBBBC】

A：かつてはビジネス街にデパートが散在する中途半端な感じの街だったが、日本橋コレドを先駆とした近年の開発群によって、超高層オフィスと低層部のショッポの街という構成が生まれつつある。裏通りに残る町家や老舗を活かせれば、さらに価値ある街になるだろう。

A：三井不動産が面的に連続して再開発事業を成功させているのは評価できる。今後の首都高地下化に伴う開発も期待したい。

A：歴史ある近代建築が残っているまち、さらにそれを活かす「日本橋再生」になって欲しいという願いも込めての評価です。

A：古き良き日本橋と新しき日本橋を融合させていこうという意識が感じられる待ち並みであると思いました。

A：銀座に比較して、敷地が広く再開発がうまくなされている。

A：再開でできた建物と周辺の建物との融合が考えられている。

A：残しながら、蘇らせながら、創っていくというテーマが良く理解できた。

B：高島屋やコレド室町周辺などは整備されてきたが、日本橋の上空の首都高速道路で街が分断されている。首都高速の地下化プロジェクトが動き始めたが、そのための莫大な費用を本当に捻出できるのだろうか。

B：日本橋の古い街並みが残るエリアと再開発が進むエリアとの関連性が今ひとつ見えてこない部分がある。難しい課題。

B：商いがある街、大阪の船場のあたりと雰囲気似ていて好きです。

C：三井不動産が頑張っているが、それがあだとなって、単調な街になってしまわないかと少し心配。

3-2 日本橋高島屋の再開発

4.09【AAAAAAAABBBBB】

A：高島屋の壮麗な歴史的建築を保存再生し、横の道路を歩行者モールにしてカフェテラスがあるガレリアに転用している点など、非常に高く評価できる。ただ、せっかくのガレリア空間が平凡で、面白味に乏しいのは唯一の課題。

A：重要文化財の本館上の容積を使って隣に高層オフィスビルを建築して、本館を保存活用したのはすばらしい。間の通路もカフェのある歩行者空間になり、ゆっくり安心して歩けるようになったのは評価できる。

A：歴史のある百貨店の建物を保存活用し、斬新な新館との調和、両建物をつなぐ道路に屋根掛けして、一体的な利用がうまくなされている。

A：旧館の伝統的な建築物重要文化財と新たに繋がったショッピングセンターの新館を単に融合させ、総売り場面積が1.4倍の大規模複合ビルが出現しています。高島屋が重視している単にものを売り買いする場の提供にとどまらず、居心地の良いコミュニケーションとしての場を提供するという街づくり戦略、新しい価値の創生につながっていると感じました。

A：街区と街区をつなぐ空間として区画道路に透明の屋根をかけてパッサージュ風に路面店を整備しているところが良い感じでした。

A：歩道部分に配置された店舗、歩いていて楽しい

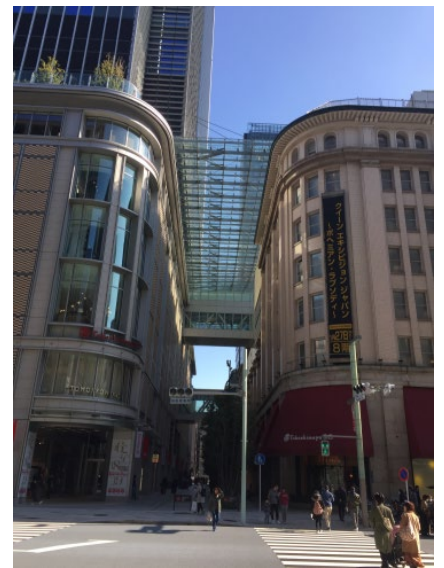
B：高島屋を隣接街区と一体的な再開発とすることで、歴史的建築物の保存が実現した。間の道路に屋根をかけ歩行者専用としており、快適な空間が創出されている。

B：容積を移転し、魅力的な路地状歩道を整備したところは評価できる。高島屋の建物を残し、隣接した建物の足元を高島屋に似たデザインにしているが、若干中途半端さを感じる。

B：他の建物に容積を積むことで高島屋をそのまま残しているのが素敵です。

B：増築されていった本館を丸ごと残せたのは偉業。

B：古い部分が残って良かった。



3-3 むろまち小路周辺

3.55【AAABBBBBBBBB】

(日本橋室町の再開発されていない路面店の通りや路地空間)

A：銀座の裏通りにレトロなビルが残るように、日本橋の裏町には伝統商家や小料理屋が多く残っている。表通りには大きなビルになっても、内部街区にこうした界隈が健在で隠れ家のように営業していることが、この街の持ち味と深みを増している。

A：建物が高層化していく中で、歴史的な景観を保ち続けている風情ある通りがあることもこの界隈を一層魅力的にしていると思います。

A：整然とした再開発の中に、ざわざわした低層の店舗街。うまく融合させている。

B：個々の店舗に個性があり、界隈間が残っているところは評価できる。横で再開発が進む中、どう共存しているのかが見えにくかった。

B：むろまち小路のヒューマンスケールの空間や、横道の路地空間など、大規模開発では得られない懐かしさのある街が残っている。

B：単体ではどこにでもある飲食店街と思った。コレド室町と連続性があり、超近代的な街と対比して相乗効果がある。

B：味のある路地やお店があって楽しい。こういう場所も残って欲しいが、建物自体は防災面から建て替えていくことが必要。

B：こうしたスケールの都市空間はやはりいいなと思ってしまう。

B：路地空間に歩き心地の良さがある。

B：良い雰囲気であった。

B：個人的にはこのままが良いです。



室町の路地

3-4 コレド室町及び周辺開発

3.73【AAAAABBBBBBC】

(コレド室町1,2,3と福德神社などが整備された区域)

A：モダンな街・銀座に対抗して、老舗の街・日本橋を打ち出しており、渋めの建物デザインや和の店舗構成などで、ある程度それが成功しているように見える。特に福德神社の誘致（復帰）は、日本特有の「奥」の文化を体現している貴重な空間。

A：住む人や働く人、訪れる人が集い、憩い、平日も休日も昼夜を問わずにぎわう場所として三井不動産が創業地の再開発を進めているだけあって、歩いて見て触って食べてと五感を楽しめる街づくりを感じることができたのではないかと思います。

A：それぞれの街区で趣向を凝らした開発を行っているのは評価できる。平日行くと人のほとんどいないフロアもあり、すみずみまで回遊性を確保するのは難しいと感じた。

A：大規模資本により計画的ににぎわいを創出している。デザイン性に優れている。

A：コレドに入っている飲食店素敵！周辺とのつながりもうまい。

B：商業空間をビルの中で完結させず、通りに面して店舗を配置することで、街らしさが生まれている。全体が高度利用される中で、福德神社の空間が貴重なオープンスペースとなっている。

B：建物間の江戸時代の雰囲気をもした歩道のつくりや歴史のある日本橋らしさを意識したテナントの構成など質の高いプロジェクトになっている。一方、外の街との関係性の作り方に工夫が感じられず、少し残念。

B：福德神社などがまちの裏側にあるという印象でした。

B：建物に挟まれた街路空間がよい

B：格調が感じられる。

C：テーマパーク的になりすぎている気がしました。一度は見に行くのですがそのあとリピートするには少々騒がしすぎるように感じました。



3-5 コレド室町テラス

3.55【AAAAABBBBBCC】

(日本橋室町三丁目地区再開発の商業・広場空間)

A：いままで日本橋地区に少なかった広場空間を、大通り側ではなく、細い通り側に確保したのは評価できる。春秋の季節になればいごちのいい空間になるのでは。台湾ブームに乗った店舗展開で面白いが、台湾の味を一人でも気軽に味わえるコーナーも作って欲しかった。

A：立地的には少し厳しい場所と思えるが、テナントにも工夫が凝らされている。今回紹介されていないが、この建物の地下に室町エリア全体をカバーする地冷施設があり、既存のビルにもエネルギー供給を行える設備となっているのは新たな取組みといえる。

A：台湾の「誠品生活」を誘致するなど商業施設はかなり頑張っており、特に大屋根のある広場空間は素晴らしい。

A：今回初めて行った。玄関前の大屋根と液晶ディスプレイ・低層部の商業施設がオフィス街に憩いの場を作っている。

A：台湾系のショップを集積させた商業空間。また行ってみたい。

B：透明の大きな庇をかけ、周辺の緑化、イルミネーションに囲まれたフラットな広場は季節が良ければ居心地良さそう。



B：広場や歩道を提供し、表通りの町並みを揃え、誠品生活など意欲的なテナント構成にしている点は評価できるが、肝心の広場が大味なので、街として魅力的な空間になっていない。

B：なかなか良い雰囲気だった。

B：この界隈の開発が進み、台湾のセレクトショップ「誠品生活」の日本発出店舗など目新しい展開もあり、インバウンド需要を背景にこの町への来訪者数は増加傾向にあると思うのですが、比較的早期に飽きてしまいそうな感じがしました。「誠品の生活」への来訪リピーターに自分はあるだろうか、と考えてしまいました。

C：屋根付きの広場は近隣にはなく面白いが、日本橋に果たして必要なのか

C：コレド室町1.2.3との差別化を図ろうとしているとは思いますが難しいですね。

4. 特に印象に残った場所、建物など（いくつでも）

◎ソニーパーク銀座：ソニービル解体後も、暫定利用で心地よい空間を提供するという発想がいい。

◎銀座ソニーパーク：良いとは思わないが、あの虚無な印象は類例がないと思う

◎銀座シックスの屋上ガーデン：銀座ルールによる街並みを見渡せる。銀ブラで歩き疲れたときにも休める空間。

◎金春通りのウォートルス設計の煉瓦建物の遺構：ここに煉瓦街があったんだ！！

◎銀座ルール：日本一の商業地であるのに素晴らしいルールを守っていると思う。

◎木造耐火建築5階建：こんなところに木造が建つとはビックリ！

◎銀座一丁目の奥野ビル：裏通りにレトロなビルが今も残り、アンティーク店やデザイン事務所などに使われている。銀座ルールがなかったら、地上げか再開発されていただろう。

◎奥野ビル：昭和初期のアパートだが、風格を保ちつつ立派に活用されている。

◎奥野ビル：この建物は知りませんでした。昭和初期の雰囲気を残す貴重な建物なので、いつまでも残ってほしいと思いました。これが建った当時は、どれだけ斬新だったのでしょうか。

◎銀座の裏路地のもと共同住宅：使いつつ残していく流れがもっと大きくなると思います。エアコンの室外機が目立っていたのはちょっと残念でした。

◎銀座の路地空間：銀座の町割りの歴史を感じられる。

◎京橋エドグランの地下通路：地下鉄京橋駅の改札口から真直ぐ伸びた地下通路に面してショップが並び、テラスを出している。現代風の路地空間だ。

◎京橋エドグラン：明治屋の歴史的建造物と近代建築が調和し、引き立たせている。ファサードの一部を残す建物を今回いくつか見たが、この明治屋の建物のような使われ方が理想。

◎京橋ミュージアムタワー：低層部を美術館とすることで、街に文化を発信し賑わいを生み出す拠点となっている。

◎日本橋高島屋再開発区画道路：透明の屋根をかけてパッサージュ風に路面店を整備しているところが良い感じでした。

◎あなご専門店 玉ゐ：昔ながらの町家で穴子料理を出すお店。昔の日本橋の風情を残したこうした町家を是非残してほしい。あなご飯もおいしそう。

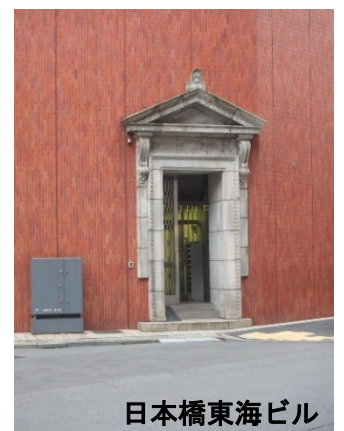
◎野村証券：細長いビルで使い勝手は悪いと思うが、日本の証券業界を代表する建築物であり、是非末永く保存活用してほしい。

◎日本橋東海ビル：日本橋一丁目中地区の再開発で建て替えられる。この場所にあった大正期の建物から再利用した玄関は何かの形で再び使われるのか。それともやはり、部分保存は子の代までは続くけど孫の代までは続かないということになるのか、気になった

◎日本橋三越1階の天井：鉄筋コンクリート造の内部空間は、天井にマッシブな梁が渡っていて重い印象があるが、これを木の葉のような鉄板で覆い、軽やかで明るい空間に変身させている。確か隈研吾によるデザインだったと思う。



奥野ビル



日本橋東海ビル

- ◎三井本館：列柱が並ぶ重厚なファサードが素晴らしい。現代の建築ではこのような重厚さが実現できないのはなぜだろうか。
- ◎三井本館、三越、日本銀行の一带：日本を代表する大変価値ある近代建築群が集積し、今もその景観を保っている。夕闇にライトアップされた姿は絶景。
- ◎三井本館：コリント式列柱が並ぶ築 90 年の近代建築が現在も活用されているところが素晴らしい。
- ◎コレド室町テラスの店舗群：誠品生活だけでなく他の店も、どれも見たことも聞いたこともないような不思議な店ばかりで、まるで知らない外国を旅しているかのようだった。
- ◎日本橋界隈：道路の起点である日本橋。新しいものと古いものが混在している街、高級な街といった印象と江戸情緒あふれる下町風情も楽しめる場所でした。新しくて懐かしい場所は、郷愁に誘われる街でもありました。



三井本館

5. 大規模再開発について（自由記入）

日本橋などで大規模再開発が行われると、都市機能が大きく更新される一方で、古き良き街並みは失われてゆきます。街がこのように変化することについて、どう思うか？

- ◎大規模な再開発事業ができるのはポテンシャルの高いごく一部の街区のみで、面的に更新できる訳ではないので、その近くにむろまち小路のような街並みが残っていけばいいのではないかと思います。新宿の歌舞伎町やゴールデン街、新橋の飲み屋街、渋谷の飲んべえ横丁など、魅力のある街並みは残っていくと思います。防災上、防犯上の課題は開発する必要がありますが。
- ◎時代の変化に応じた都市の機能更新は必要だが、単に再開発すると都心部はどこも同じになって都市全体が平板になり、中期的には都市の魅力と活力が低下してしまう。それぞれの街の特色、持ち味を失わず、逆にそれを活かすような都市再生が求められる。銀座ルールやむろまち小路、福德神社は、その先駆的な模範例であろう。
- ◎大規模再開発では、面的に風景を一変させてしまうこともあるのですが、それによって構築された建築物が一般の建築物より良い景観を作ることもあるので、再開発事業者が経年劣化ではなく、経年優化となるべくコンセプトに基づき開発を考えていただければ、その価値は歴史が判断してくれるのではないかと思います。
- ◎都市は常に変化し続けるものなので、変化に適応できないものは失われることとなる。良いものをきちんと残し、そうでないものは変えてゆくプロセスがまちづくりであり、その価値観を市民が共有できれば、街はより良い方向に変化するのだと思う。
- ◎いつかは建て替わらなければならないので、持続的にどういう街を目指していくのが大事だと思います。全てが再開発されるわけではないと思うので、どう共存していくかの工夫と知恵が必要だと思います。
- ◎東京直下型地震への対策として、大規模開発は有効だと思う。「むろまち小路」のような既存の商業地との連続性が図られるとよい。
- ◎この変化がTokyoの魅力ではないでしょうか。でも建て替えのスピードが早すぎるような気がします。
- ◎機能の更新と合わせて歴史ある造形美を引き継ぐことは可能だと思う。関係者の努力に期待したい。
- ◎寂しいです。また、資本主義経済のため、それぞれが再開発を行い、商業・業務の床を増やし、より競争力のある新しいものを作ることは致し方ない面もあると思いますが、人口が減る中、国全体としてこの方向でいいのかと不安になります。

6. その他、今回の企画についての感想など（自由記入）

- ◎正月商戦で賑わう百貨店を覗きながらのんびり歩くというつもりで参加しましたが、見どころが予想以上に多くて時間がなく、ハードなウォーキングになってしまいました。しかし、おかげで変化の激しい近年の銀座・京橋・日本橋を一気に見ることができ、街の様子がよくわかりました。これからは、気になる裏道の隠れ家風のお店に行ってみたいと思います。栗原さん、ありがとうございました！
- ◎よく知っている街でしたが、こうして改めて歩いてみると、普段気が付かないところがあったり、インスピレーションを掻き立てられたり、今後の街の姿についていろいろと考たり、思った以上に刺激を受けた企画でした。栗原さん、ありがとうございました。
- ◎盛り沢山の企画であり大変充実していた反面、1か所の見学時間を短時間で実施せざるを得なかったところが少々心残りでもありました。榛原の和紙が素晴らしかったので、また、個人的に行ってみようと思いました。次回の企画を楽しみにしています。
- ◎銀座から日本橋まで、再開発のプロジェクトを駆け足でしたが、いっぺんに見て回れたのは、貴重な機会で、とても楽しく勉強になりました。栗原さん、ありがとうございました。丸の内、大手町、八重洲企画も楽しみにしています。
- ◎土地の価格が東京でも一番高い場所なのに、都市の中でカネを払わなくても座って過ごせる場所が、例えば新宿や渋谷と比べてずっと多い感じがした。
- ◎スポット、スポットでは行ったことがある施設も、つないで歩くと新しい発見があり楽しかったです。
- ◎商業施設として見ていた場所を計画的に見ることができてとても楽しかったです。ありがとうございました。
- ◎都心部の再開発地を見る機会がほとんどないので、よい企画を組んでいただき感謝します。
- ◎盛りだくさんでしたが、今後の開発計画までご説明いただき大変参考になりました。
- ◎短い時間なのに色々見て感じる事が出来ました。ありがとうございました。

【コーディネーターより】銀座・京橋・日本橋と歩いたので、かなり盛沢山になってしまい、個々の街をじっくりと見るができなかったかと思います。気に入った場所があれば、ぜひまた訪れてみてください。